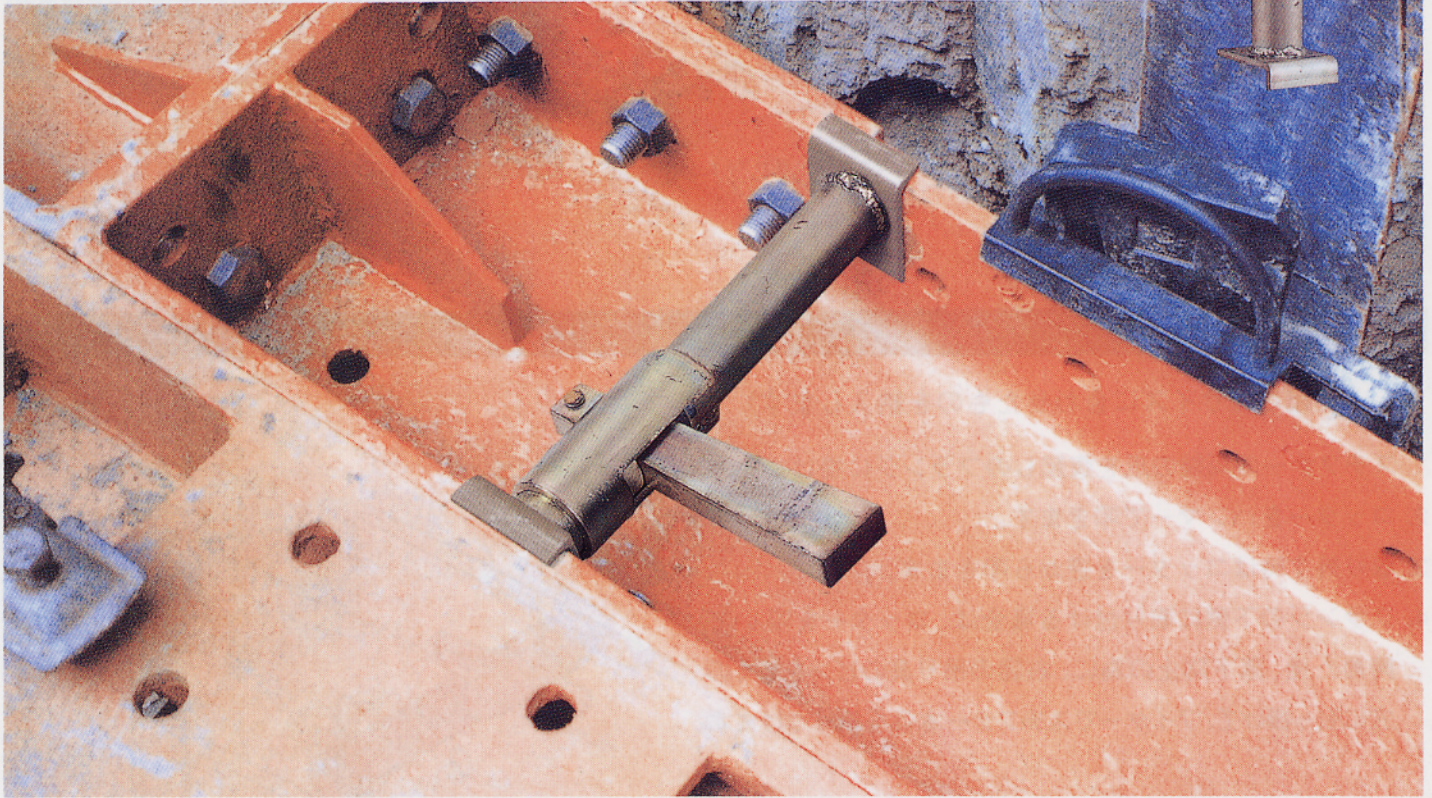


HS型スチフナー

溶接・コンクリート作業不要



HS型スチフナーの特徴

HS型スチフナーは腹起し材の補強材として開発しました。

- 1 特殊鋼を使用、軽量で強力です。
- 2 操作が簡単でよく締まります。
- 3 コッターのテーパーは1/10で、少し下向きに打ち込むので振動で抜けたり、ものが当たって戻ったりする心配は、ありません。
- 4 フランジの下側に取り付ける時に使用する安全吊り具は吊り穴を自由に選ぶ事が出来るので、アースアンカー工法するときにも有効に働きます。

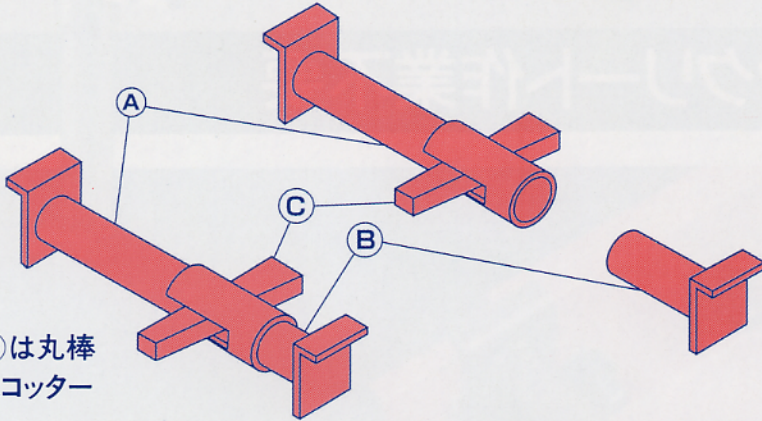
「ホークのスチフナー」を使用すれば、溶接作業もコンクリートの打設作業も不要となります。又、腹起し材の下側に取り付ける場合は上向き溶接も不要です。(アースアンカー工法などで、スチフナーを使用することによって腹起し材のサイズを、1ランク下げることが出来れば、そのメリットは大きなものになります。)

ホーク

豊和スチール株式会社

主な仕様

腹起しのサイズによって②を取り換えます。



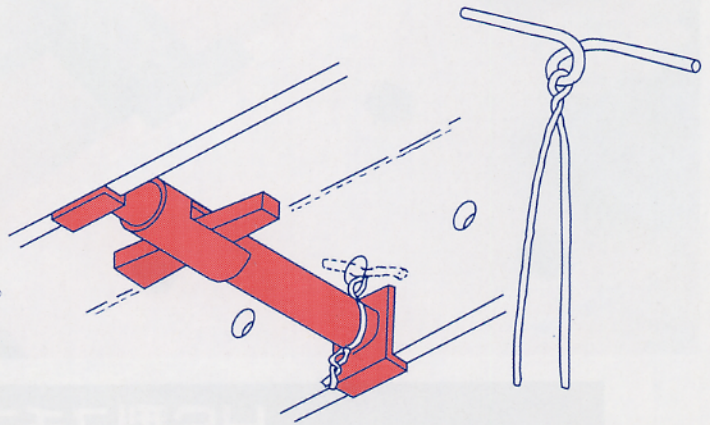
腹起し サイズ	ストローク (ミリ)	A B丸棒38ミリ	
		重量(Kg)	耐圧(トン)
300H	265~273	3.5	75
350H	307~315	3.9	75
400H	353~361	4.3	75

施工順序

(腹起しのサイズに合わせたものを納入します)

1. スチフナーの両端の爪を腹起しのフランジに掛けます。
2. コッターをハンマーで叩きます。
3. 取り外す時はコッターを逆から叩きます。
4. フランジの下側に取り付ける場合は、コッターを叩いて締めた後、落下防止の為に、右図の吊り具のピンを近くの穴に引っ掛けて、ワイヤーでスチフナー本体を縛りつけます。

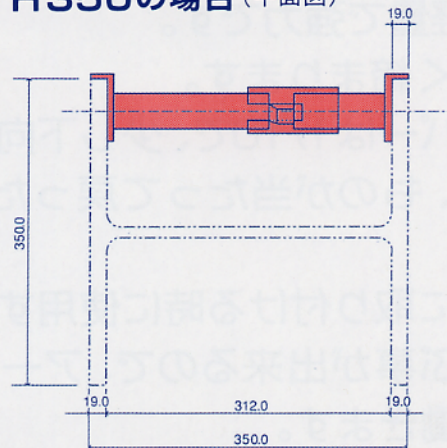
(安全吊り具)



使用例



H350の場合 (平面図)



(側面図)

